

新製品解説

地上デジタルユニット AN-DU1

Digital Terrestrial TV Receiving Unit AN-DU1

村上 哲也*
Tetsuya Murakami

江口 洋一*
Yohichi Eguchi

まえがき

BS デジタル・110度CS デジタル放送に続き、2003年12月より東名阪の一部地域において、地上デジタル放送が開始された。当社は業界に先駆け、2003年夏に地上デジタル放送に対応した地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタルチューナ内蔵液晶テレビ AQUOS AD1/2 シリーズを製品化した。ここで紹介する地上デジタルユニット AN-DU1 (写真1) は、2003年夏以前に製品化した地上デジタル放送に対応していないBS デジタル・110度CS デジタルチューナ内蔵液晶テレビ AQUOS のユーザに対して、地上デジタル放送の視聴機能を最小限の追加費用で提供するために、当該液晶テレビ AQUOS の専用オプションとして、使いやすさと低価格を目指して開発、製品化したものである。



写真1 AN-DU1-S

1. 製品概要

地上デジタルユニット AN-DU1 の製品仕様、対象となる液晶テレビのモデルを表1に、製品外観を写真1に、対応 AQUOS と接続した状態を写真2と写真3に示す。AN-DU1 は CD ケース約3個分のコンパクトサイズを実現しており、同梱のアタッチメントを使用して AQUOS の背面に取り付けることが可能 (一部 AQUOS は添え置き)。また、AQUOS 本体からの電源供給方式を採用し、AQUOS 本体のリモコンで手軽に地上デジタル放送のチャンネルを選局・視聴できるため、まさに地上デジタルチューナ内蔵感覚で使用できるようになっている。

2. 特長

(1) i.LINK 接続

音声・映像、及び操作コントロールの伝送はすべて i.LINK ケーブル1本で行えるため、AQUOS との接続ケーブルを必要最低限に抑え、簡単接続を実現している。

表1 製品仕様

形名	AN-DU1-S (シルバー) AN-DU1-B (ブラック)	
接続端子	アンテナ入力端子1系統 アンテナ出力端子1系統 DC9V 入力端子1系統 i.LINK 端子1系統	
対象モデル (液晶テレビ)	LC-37BT5/LC-37BD5/LC-30BV5/ LC-22BV5/LC-B220/ AQUOS CUSTOM (LC-37L5B/LC-37L5T/LC-37U5B/ LC-37U5R/LC-37W5C/LC-37W5K)	
テレビリモコン兼用	○	
リモコン操作 (AQUOS 本体 リモコンで操作)	放送切換	○
	メディア切換	○
	連動データ 放送表示	○
	番組表表示	○
	選局 順/逆	○
	3桁入力選局	○
システム仕様	映像/音声伝送	i.LINK ケーブル使用
	制御	相互機器認証に基づく独自制御方式
	電源	AQUOS 本体電源より供給 (DC9V)
	テレビ本体背面 への取り付け	○ (LC-37BT5/LC-30BV5/LC-22BV5/LC-B220)
外形寸法	幅130mm×奥行130mm×高さ36mm	
付属品	i.LINK ケーブル1本 DCケーブル1本 アンテナケーブル1本 取り付け用アタッチメント1個	

(2) AQUOS 本体からの電源供給方式 (DC9V)

AQUOS に設けられた専用の DC9V 端子から、AN-DU1 へ電源を供給することができ、外部電源として

* AV システム事業本部 液晶デジタルシステム事業部 第6技術部



写真2 LC-22BV5 との接続



写真3 LC-37BD5 (AVC センター部) との接続

ACアダプタなどが不要。また、AQUOS本体の電源を入/切すると、AN-DU1の電源も連動して入/切するようになっており、操作性向上と省エネ効果を実現している。

(3) AQUOSの背面に取り付け可能なコンパクトデザイン

CDケース約3個分サイズのコンパクトなデザインを採用しており、同梱のアタッチメントを使って、AQUOS (LC-37BT5/LC-30BV5/LC-22BV5 /LC-B220)の背面に取り付けることができる(写真2)。

(4) 地上デジタルチューナ内蔵テレビと同等の操作性

AQUOS本体のリモコンにより、選局操作や放送切り換え操作が手軽に行えるため、地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタルチューナ内蔵テレビと同等の操作性を実現している。

むすび

視聴可能地域、対応モデルについて多少の制約事項はあるものの、地上デジタル放送に対応していないAQUOSのユーザに対して、最小限の追加費用で、簡単に接続することができ、地上デジタルチューナ内蔵テレビと同じ操作感で地上デジタル放送を視聴することができる手段を提供することができた。今回のように、地上デジタル放送という新しい放送が開始されることで、切り口を変えることにより、この地上デジタルユニットを提案・製品化したことは非常に意味があると考えられる。今後も業界の流れをつかみ、ユーザの視点に立った新しい提案ができる商品開発を積極的に進めていきたい。

(2004年2月9日受理)

<お問い合わせ先>

AVシステム事業本部

液晶デジタルシステム事業部 第6技術部

〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

電話 (0287) 43-1131 (大代表)